全修協 夏の教職員研修旅行

「一人でも参加できますか」「〇〇の研究をしていますが、どんな先生が講師につくのですか」―夏季研修旅行の募集が始まって以来このようなご質問・お問合せが多くなってきました。全修協教職員研修旅行は、一人でもまたグループでもどの地域からでも参加できます。各コースには講師陣も充実、多彩な顔ぶれが揃い、講師の先生方も研修旅行団の訪問を楽しみにしておられます。今季各コースの研修地の主要ポイント・講師は以下の通りです。本年も参加者による「写真コンクール・作品」の募集を行いますが、従来の賞の他「科学万博コース」には「科学万博―つくば'85賞」＝財国際科学技術博覧会協会後援＝を新たに設けました。

六月も中旬に入り、いよいよ夏の旅行計画等話題になる頃です。ふるってのご参加をお待ちしております。

自然に学び人に触れ

北海道一周コース

【一周ワイド】函館＝函館市小学校社会科教育研究会幹事・葛西幸一先生（東川小学校教頭）

【一周デラックス】千歳＝北海道社会科教育連盟代表・志田恭司先生（札幌市立清田緑小学校長）

▽広大な面積をもち北国らしい四季折々の変化に富んだ気候の北海道。雄大な景観とともに、厳しい自然環境の中で営まれる人々のくらし・文化・歴史・教育など視聴覚機器を利用して講演。

利尻・礼文とノシャップ岬コース

▽礼文島＝今野隆二先生（礼文小学校長）▽利尻島＝古川恭司先生（東利尻町教育委員会総務課長）

▽日本最北端に位置する利尻・礼文島の自然環境と文化。

下北半島恐山と津軽・十和田コース

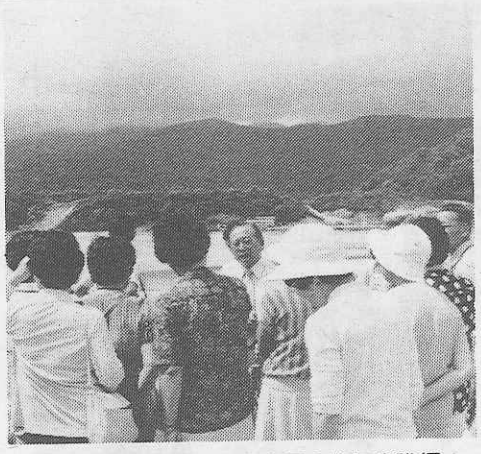
▽恐山＝森勇男先生（東通村助役、東通村教育長などを歴任。恐山に関する著書多数）

▽イタコ伝承の霊場恐山と太宰治の精神を育んだ津軽の風土。

遠野と陸中海岸コース

▽遠野市内＝菊池春雄先生（遠野市立博物館研究員）、鈴木サツさん（遠野物語を語れる数少ない民話継承者）

▽柳田国男著「遠野物語」の世界は幽玄でもの悲しくもあります。霊峰・早池峰山のふもとに広がる遠野盆地。民話のもとになった数多くの民俗遺産を訪ね、「語り部」の民話に耳を傾ける。



霊場恐山・宇曽利湖を目の前に森講師（中央）の説明を聞く研修団

講師陣も充実、多彩な顔ぶれ

自然・歴史・文化を新しい目で

磐梯高原と蔵王、松島コース

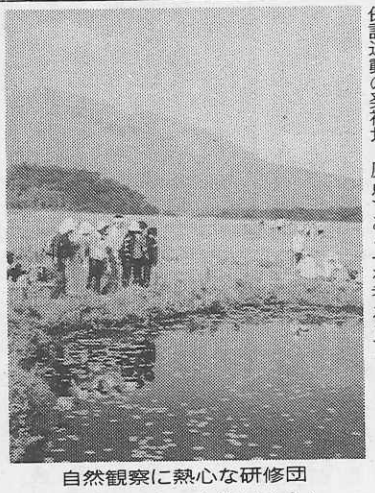
▽鳴子・遠刈田・白石＝鳴子こけし組合（こけし製作継承者）

▽長い歴史と風土に培われた伝統工芸・こけしのふる里を訪ねこけし製作の実習（鳴子）

富士登山コース

▽登山指導＝小俣彦太郎氏（富士登山案内組合長）

▽日本人の心のふる里・清嶺富士。身を清め、安全登山で元気回復。



自然観察に熱心な研修団（写真コンクール作品から）

特別研修　尾瀬コース

▽尾瀬＝尾瀬の自然を守る会代表・岸好人先生（わが国、自然保護運動の発祥地・原点である尾瀬において自然保護を考え、学び、行動する〝市民の会〟）

▽高層湿原地帯「尾瀬」の自然観察を通し、貴重な自然の保護を考えます。

佐渡ヶ島と越後路コース

▽岩室～出雲崎＝谷川敏朗先生（新潟中央高校教諭）

▽金山の歴史とおけさの島佐渡、出雲崎に良寛の史跡を訪ねる。

立山黒部アルペンルートと越中万葉の氷見・能登半島

▽立山＝清水巌氏（富山県ナチュラリスト）氷見＝木下斐出男氏（富山県郷土史会常任理事）

▽山岳信仰の地立山の自然と越中万葉の高岡・氷見。

熊野路と高野山

▽高野山＝高野山大師教会・教学部長、中辺路＝岩本敏彦先生（中辺路町教育委員会）

▽蟻の熊野詣で知られる熊野路。重厚な熊野・中辺路に日本文化の源流を探る。

湖東三山と琵琶湖周遊

▽琵琶湖＝大友恭先生（大津市立晴嵐小学校長）

▽わが国最大の湖琵琶湖の水域観察と疎水利用の歴史。

四国一周と本四連絡橋

▽松山＝山野芳幸先生（松山市立伊台中学校長）

▽〝春や昔十五万石の城下かな〟と子規に詠まれた城下町・松山の史跡。

九州一周コース

▽阿蘇山＝岩本政教先生（熊本大学名誉教授）

▽世界有数のカルデラ式火山・阿蘇山の自然と地学。

北海道知事賞など

写真・作品　ふるってご応募を

恒例の研修旅行「写真コンクール」（協賛＝北海道庁・㈱北海道観光連盟・近畿日本ツーリスト、後援＝㈶国際科学技術博覧会協会）は、「北海道知事賞」「道観光連盟賞」他新たに「科学万博―つくば'85賞」など賞多数。皆様の、ふるってのご応募が期待される。

「大和路を語る会」

主催　奈良県
後援　全修協

奈良県では、修学旅行のための「大和路を語る会」を全修協ほかの後援により、つぎの日程で開催する。

「大和路を語る会」は、修学旅行受入対策の一環として例年開催しており、各学校の修学旅行担当者、旅行業者との意見・情報の交換、奈良県の古文化財の紹介、講演が予定されている。

▽秋田会場＝六月十三日「杉のや」

▽山形会場＝六月十四日「山形県民会館」

いずれも十時三十分開会

会長に滝嶋壮三氏
関修委総会ひらく

関東地区公立中学校修学旅行委員会（宮嶋明会長）では、五月三十一日栃木県において本年度総会を開催した。

会長及び白滝参与（㈶全修協専務理事）の挨拶、来賓として加賀美栃木県中学校長会長の祝辞のあと、五十九年度の会務、決算、監査報告があり、引続き六十年度役員選出、事業計画、予算、六十一年度輸送計画の修正、六十二年度輸送計画の基本方針、関西現地研修会、三地区修学旅行連合委員会、研究発表会等について協議し、いずれも承認された。ついで、この総会限り去られる宮嶋会長以下二十二名の方々に感謝状を贈呈し会を閉じた。

本年度の役員および委員はつぎのとおり（各中学校長、敬称略）

会長＝滝嶋壮三（埼玉・川越一中）副会長＝井田益雄（群馬・南橘中）加賀美静男（栃木・一条中）塙茂樹（茨城・水戸一中）吉井淳（千葉・東金中）運営委員長＝高橋尹敏（埼玉・喜沢中）運営副委員長＝滝田潔（栃木・横川中）事務局長＝大山茂（埼玉・北坂戸中）会計委員＝藤野正治（千葉・大洲中）糸賀英一（新治中）荒木実（渋川北中）星河福司（長野原西中）≪栃木県≫大関三良（雀宮中）斎藤祐康（真岡東中）小林理一（小山三中）時田登（足利北中）≪茨城県≫島田誠（双葉台中）佐藤芳郎（駒王中）濱田昭（土浦五中）大快貞蔵（下館中）≪埼玉県≫久米昭治（三室中）永山忠夫（上青木中）金子昭四郎（志木二中）高橋章（川柳中）黒須正吉（植竹中）栗原利夫（三芳中）大野養平（都幾川中）宮澤清（東秩父中）紙書一（上里中）嶋野義智（江南中）神田亮（加須北中）山口明（菁莪中）岡田貢（大相模中）掛川健司（奈良中）≪千葉県≫北川博（小金中）川村幸雄（風早中）清宮仁（習志野六中）塩田邦雄（印旛中）≪㈶全修協≫中島和友（総務部長）

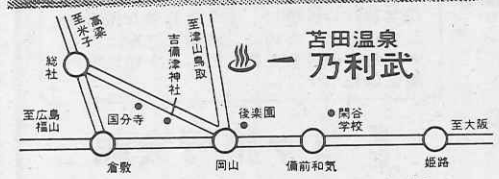
山形県修学旅行ガイドブック作成

周遊型から滞在型へ、見学型から体験型へ変りつつある修学旅行の動向をふまえて、山形県ではこのほど修学旅行ガイドブックを作成、「紅花の山形路」を紹介すべく、関係各方面に配布した。

このガイドブックはA4判・42ページ。周遊型モデルコース、サブコース用県内四地区のポイントガイド、滞在型モデルコース＝スキー修学旅行と夏期学習などが詳細に記載されている。

◎連絡先…山形県観光協会
〒990 山形市松波二―八―一
☎（〇二三六）三一―九二三三
山形県観光物産課（所在地同じ）
☎（〇二三六）三〇―二三七一

山陽路 岡山のお宿

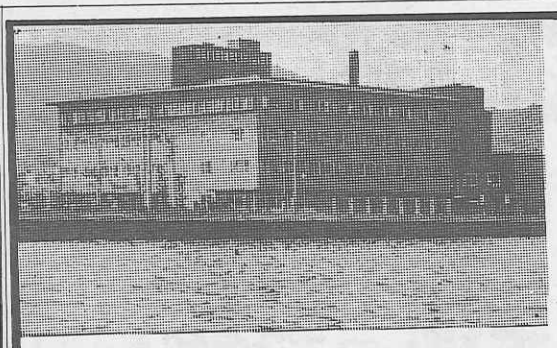


■岡山駅より車で15分・バス25分。■中国自動車道、津山インターより45分。

10,000坪の庭園を擁し、おもちつき、また、ファイアーストームを囲んでのフォークダンスなど、楽しいリクリエーションタイムをご用意して、皆様方をお待ち申し上げております。(500名可能)

昼食休憩・ガーデンパーティーもご予約を承わります。

政府登録国際観光旅館
苫田温泉 乃利武
〒701－11　岡山市桂谷1453
☎086294－2321　TELEX. 5922－621



いらっしゃいませ
びわ湖国定公園
近江路の旅へ
収容　６００名様
浴場　１５０名様
設備　全館冷暖房
防災　諸設備完備
駐車場　バス20台
政府登録
国際観光旅館　びわ湖ツーリスト・ホテル
大津市におの浜3丁目2－25　電話　大津(0775)24－2321

育てる心は、みんな同じ。

●営業時間
9:00～17:00（3月16日～11月15日）
9:30～16:00（11月16日～3月15日）
●修学旅行料金　高校生 1,000円
中学生 700円、小学生　600円

別府あじむ草原
アフリカンサファリ
〒872-07 大分県宇佐郡安心院町大字南畑
☎（09784）8－2 3 3 1（代）

KANSAI KISEN
大阪・神戸 直行便 別府
12,000トン
さんふらわあ
大阪南港 19.00発 8.20着 ⇄ 神戸中突堤 20.30発 6.50着 ⇄ 別府 8.00着 19.20発
修学旅行に貸切専用外航純客船さんふらわあ７もご利用ください。
営業部営業課　大阪市北区梅田１－１　☎(06)344-7031
東京支社　東京都中央区八重洲１-４-14　☎(03)274-4273
及び各支店、営業所、旅行代理店へ
くるしま観光グループ
関西汽船

小・中・高校の一貫教育をめざし

修学旅行の実態調査〈1〉

―三重県修学旅行研究会―

三重県修学旅行研究会（野田政夫会長）では、前年度に引き続き、昭和五十九年度の小、中、高等学校の修学旅行の実態調査を総合的に行い、さき頃その結果を集計分析し、まとめを発表した。

同研究会では、総括として「各学校とも旅行の内容について創意工夫をこらし、各々の地域性に立った計画がなされている。」「今後小、中、高校の一貫した教育の中で、その在り方も検討されなければならなと思う」と述べている。

この調査は、全県の修学旅行の実態がよく把握されており、貴重な記録である。修学旅行教育上の好参考となるものと考えられる。その概要について紹介したい。

小学校（公立）の修学旅行実態調査

1、回収率

調査対象校　四四五校
回答校　四四一校
回収率　九九・一％

2、実施学年

○六年生四二八校（九七・一％）
○五・六年同時　一〇校（二・八％）
○隔年実施　三校（〇・六％）
本年不実施

この結果に対し、同研究会では、「児童の発達段階や、社会科の内容等から六年生実施がよいのではないか」「小人数の場合は他校との連合で実施しているところもある」と意見を付している。

3、実施時期

四月（一三三校、三〇・三％）、五月（一三三校、五三・二％）、六月（九校、二％）、九月（二校、〇・五％）、十月（五九校、一三・五％）、十一月（二校、〇・五％）となっており、前年に比して多少春が増えていている。

4、旅行期間

一泊二日（三二五校、七四・二％）、二泊三日（一二三校、二五・八％）

5、引率教員一人当り児童数

全県平均は、一一・六名で、「前年度の一二・六名に対してよくなっていることはうれしいことである。地域や学校それぞれの事情があって、一概にはいえないが、児童との行きとどいた接触を考えると、少しでも小人数が望まれる」と同研究会ではいっている。

6、旅行参加児童数及引率者数

全県で、生徒総数二五、九九三名に対し、引率教員数二、一四一名となっている。

7、児童一人当りの旅費

全県平均、一泊二日の場合一三、八九七円（前年度一三、二二六円）、二泊三日では、二五、五五〇円（前年度二五、〇五〇円）で、約五〇〇円～六〇〇円程度の増加となっている。

8、児童旅費の内訳

A　交通費

全県平均、一泊二日では五、四八八円（前年度五、二六七円）二泊三日で九、四八七円（前年度九、三五〇円）と、運賃値上げもあり、前年より約一〇〇円～二〇〇円程度高額となっている。

B　宿泊費

全県平均、一泊二日では五、二九五円（前年度五、〇五〇円）二泊三日で一〇、四九一円（前年度九、一〇〇円）となり、前年に比して全般的に高額になっている。平均して一〇〇円～三〇〇円増となっている。

C　その他（食事代、入観覧料雑費）

全県平均が、一泊二日で三、一一四円、二泊三日で五、五六五円である。一食の代金は、八〇〇円が最も多く、大体九〇〇円から六〇〇円の間となっている。入観覧料も最高二、五〇〇円から、最低一三〇円（一校）となっているが、少ない所でも三〇〇円程度となっている。

（つづく）

食三代

桑原守也

私が、この道に入ったとき教えを乞うた先達は、今は故人の志摩観光ホテルの川口四郎吉社長であった。十いくつも違う先輩で、絵もかかれるとても情誼のあつい方であられた。

鉄道に勤めていた頃、社長の兼営するロッジで息子たちと遊んだ折、どこで耳にされたのか、靴下をぬぎ、つかつかと共同浴場の奥の湯舟までやってこられ、子供たちの手をひかれて、ホテルに移りましょうといって下さったこともあった。後日ホテル赴任のあいさつに出向いたところ、じっと考えておられたが、「桑原さん、決心されましたか、そうなら、しっかりやって下さい。ホテルマンになりきりなさい。そのためには洋食の味を覚えることですね。毎日三食ともたべられるように、ありがたいお言葉ではあるが、今までおかゆか芋（いも）しか食ってないものには、それは大変なこと。料理の面（つら）をみただけでえずくようなことも一度や二度ではなかった。眼をつぶってのみこんだこともあった。しかし、生まれつき負けず嫌いの性分なので、何がなんでもやりとげたいと思い通し、どうやら最近では、多少、料理についても口をはさむことができるようになった。

この先師の教えられた言葉に食三代というのがある。それは、味覚というものは祖父母の代から訓練しなければ理解できない。つまり、味が正しくわかるためには、三代かかって磨きあげないと完全なものとはなり得ないということである。

過去八年間の洛琉月二、三回の往還は、現業を担うものとして肉体的にもこたえた。若いとき両耳がつぶれるほど激しいスポーツをやったこと、大陸での五年間の軍隊生活の体験が支えてくれたのであろう。さて、おかげさまで社業も皆様の限りないご援助を仰ぎ、どうにか続けさせていただいている。私の願いは、増益しての税金奉公も大切であるが、あとに続く人達に技術と仕事への根性を植えつけたいとおもう昨今である。

（沖縄都ホテル社長、元近畿日本ツーリスト常務取締役）

地域によってかなりの格差がある。児童数の多いところは、鈴鹿市一五・七名、三重郡一五・三名、桑名市の一五・六名などで、少ないところは、飯南郡七・七名、北牟婁郡八・三名、南牟婁郡八・六名などとなっている。

6、旅行参加児童数及引率者数

全県で、生徒総数二五、九九三名に対し、引率教員数二、一四一名となっている。

7、児童一人当りの旅費

全県平均、一泊二日の場合一三、八九七円（前年度一三、二二六円）、二泊三日では、二五、五五〇円（前年度二五、〇五〇円）で、約五〇〇円～六〇〇円程度の増加となっている。

8、児童旅費の内訳

A　交通費

全県平均、一泊二日では五、四八八円（前年度五、二六七円）二泊三日で九、四八七円（前年度九、三五〇円）と、運賃値上げもあり、前年より約一〇〇円～二〇〇円程度高額となっている。

B　宿泊費

全県平均、一泊二日では五、二九五円（前年度五、〇五〇円）二泊三日で一〇、四九一円（前年度九、一〇〇円）となり、前年に比して全般的に高額になっている。平均して一〇〇円～三〇〇円増となっている。

C　その他（食事代、入観覧料雑費）

全県平均が、一泊二日で三、一一四円、二泊三日で五、五六五円である。一食の代金は、八〇〇円が最も多く、大体九〇〇円から六〇〇円の間となっている。入観覧料も最高二、五〇〇円から、最低一三〇円（一校）となっているが、少ない所でも三〇〇円程度となっている。

（つづく）

台湾修旅ビデオ完成

日本アジア航空

海外への修学旅行が年々増加しているが、日本アジア航空では、台湾への修学旅行のPRビデオを制作し、五月二十九日試写会を開催した。

「新しい国際人の育成」「国際親善を身体で理解」「自国を客観的に見る」「日本との長い交流の歴史」「安定した国情」「国内と大差ない費用」の六項目を掲げ、正則学園高（東京）および埼玉一高の修学旅行団を取材、二十三分間にまとめたもので、台湾への修学旅行計画の参考となるものである。

◎連絡先…日本アジア航空㈱
〒100東京都千代田区有楽町一―七―一（有楽町電気ビル南館）
☎（〇三）二八四―二六六六

東京都心案内図作成

本郷の全旅館明示　文京区

東京都内で宿泊する修学旅行団の大部分を引き受ける文京区では、文京区観光協会、本郷旅館協同組合と協力して宣伝用資料を作成、北海道、東北をはじめ、各地の関係先に送付した。

同区内に宿泊する修学旅行生の人員は、旅館数とともに減少の傾向にあるが、今年は科学万博や東北・上越新幹線の上野開業等により、久々の大盛況になりつつあるので、この機会を逃さず来年以降も首都東京を見直してもらおうとPRを推進することとなった。

資料の内容はつぎのとおり。

①東京都心案内図＝縦84㌢、横60㌢の色刷り、向島から渋谷までの範囲の名所旧跡、常磐・東名等各自動車道およびディズニーランドから首都高速各ランプへの道順、主要駐車場、本郷地区全旅館を明示。

②文京区観光ガイドブック＝区のおいたち、史跡、坂、文芸作品、歴史と文化の散歩道等。

③観光リーフレット＝文京区の地図と区内の観光史跡案内。区内自主見学の好資料。

◎連絡先…文京区役所経済課内文京区観光協会
〒112文京区春日一―一六―二一
☎（〇三）八二一―七二一一㈹

EXPO NEWS

7月20日まで 15時から夜間割引 シャトルバスも団体割引

科学万博の入場者数は五月三十日に七百万名の大台を突破したが、財団法人国際科学技術博覧会協会では、見学者の便をはかるため、六月一日から七月二十日までに限り、つぎのとおり取り計らうことになった。

①夜間割引入場時刻繰り上げ
夜間割引入場開始時刻を16時から15時に繰り上げる。なお、シャトルバス運賃も往路のみ15時以降大人600円を500円に、小人300円を250円に割引く。但し、復路は割引しない。

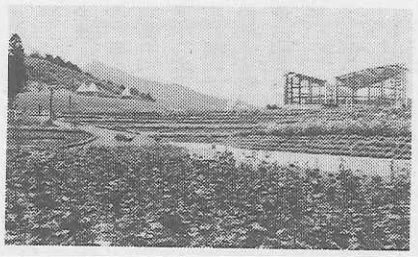
②シャトルバス団体割引
25名以上の団体については一割引、片道大人540円、小人270円とする。さらに、土・日曜の一般団体は、シャトルバス乗車証明書の交付を受ければ、平日並みの団体割引が適用される。但し、学生団体の土・日入場は、従来どおりの申請方式とする。

県花「バラ」が満開 茨城県フラワーパーク開園

科学万博開催を記念して、地元茨城県が筑波山東麓に建設を進めていた「茨城県フラワーパーク」が完成、六月二日オープンした。

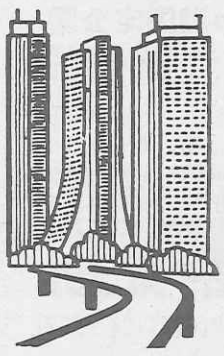
東洋一の規模をほこるというバラのテラスと品種園に、県の花「バラ」五百品種三万本が今や満開、大温室には三百種・三千本の熱帯花木が咲き乱れ、花木見本園、四季の丘、水と草花の谷、ボタン園、展示栽培温室と、広大な園内は一年中花が絶えず、植物好きの方は万博から足を延ばしてみたいところである。常磐自動車道土浦北ICから十六キロ。

◎入園料大人600円（団体30名以上500円）小中学生300円（同250円）
◎開園9時～17時（3～11月）　9時～16時（12～2月）
月曜（祝日の場合翌日）休園
〒315―01茨城県新治郡八郷町下青柳二〇〇
☎（〇二九九四）二―四一一一

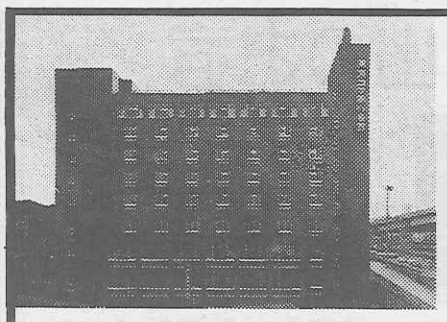


一面の真赤なバラと大温室㊨左には筑波山を遠望

首都東京を見て、何かを！

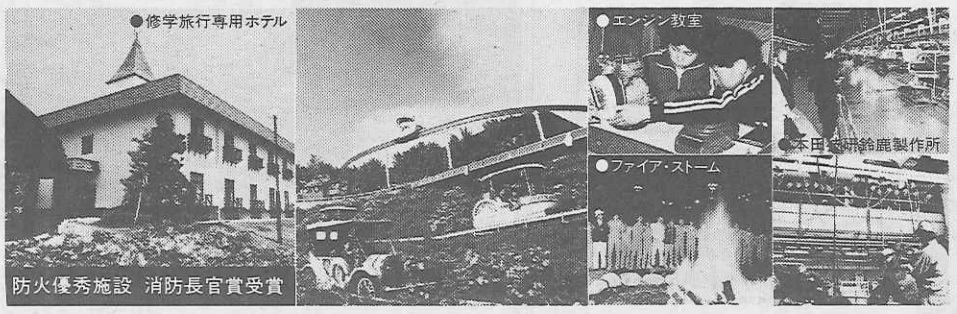


学校単位の貸切りで
ご利用下さい
30年の経験を生かす 50旅館 8000名収容
本郷の旅館へ
本郷旅館協同組合
〒113 東京都文京区本郷4―36―3 TEL 03―813―9381



東京コマ旅行会館は
第8回優秀防火建築表彰で
建設大臣賞を受賞いたしました。
東京でのお泊りは
安全設備を誇る当会館へ。
東京タワー、国会議事堂を間近かに望む東京の中心にあり、8階建の近代ビルで、修学旅行の皆様に、より有意義な旅行をしていただくために、清潔で低廉に、しかも最新の設備をほどこした全館和室の観光旅館です。
ホテル〈全館和室〉
東京都港区六本木1丁目7番地
TEL (03)585―1046(代表)
東京 コマ旅行会館

「今日」に触れ、学び、修める、モートピア体験。
興味こそ学びの原点。モータリゼーションへの興味を通して、若者のこころに語りかける有意義な修学旅行が、多くのご支持をいただいています。
エンジン教室、工場見学、実際に運転できるのりもの…。ゆたかな自然のなかで、触れて、確かめて、楽しみながら理解する。それがモートピアでの修学旅行です。鈴鹿サーキット、多摩テックには、そんな意義深い体験を快適なものにする施設がいろいろ。リラックスできる専用ホテルでのお食事や、キャンプ場での野外炊飯をはじめ、旅の夜を彩るファイア・ストームの解放感に、忘れ難い思い出がつくられることでしょう。



陽気なビッグ・レジャーランド
鈴鹿サーキット
〒510-02 三重県鈴鹿市稲生町7992／☎(0593)78-1111
●名古屋または大阪より近鉄特急白子駅下車直通バス
スズカから京・奈良・伊勢・志摩へも2時間の距離。
未来と過去を結ぶ理想の修学旅行コースです。
緑のモートピア
多摩テック
〒191 東京都日野市程久保1／☎(0425)91-0820
●京王線多摩動物公園駅下車直通バス
ご視察のお申し込み、資料ご請求は…
株式会社ホンダランド
名古屋営業所/修学旅行課:〒450 名古屋市中村区名駅3-12-12 竹生ビル☎(052)571-7176
本社/東京営業所:〒104 東京都中央区八重洲2-6-20 ホンダ八重洲ビル☎(03)274-5821
大阪営業所:〒530 大阪市北区芝田2-6-30 梅田清和ビル2F☎(06)372-1526